

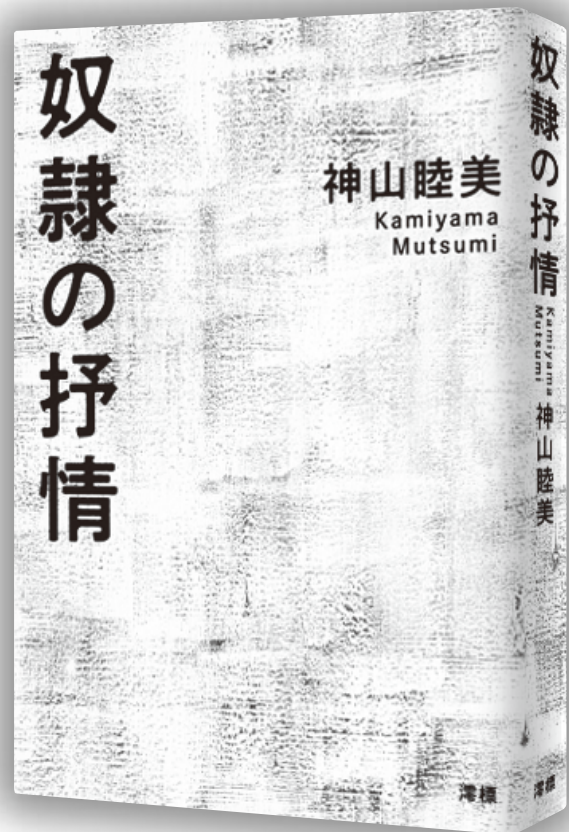
# 奴隷の抒情

神山睦美  
Mutsumi Kamiyama

文芸評論を書き始めて五〇年以上になるが、いまだに飽きることがない。思考力が枯渇しない限り、詩や小説や、思想を読み解くことに終わりというものはない。

とはいえ、力の源が、無尽ということはありません。実際、昨年十月から今年一月にかけて、書下ろし稿を書いていたのだが、その間、何度も躓かずにはいられなかった。さまざまな災厄が、私の思考を遮ったのである。  
（「あとがき」より）

- 汚名を着せられた言葉
- 公と私
- 絶対的「無」としての「奴隷」
- 生と死の循環
- コロナ・パンデミックの抒情
- 重度の神と共に生きること
- 母親からの疎外
- 抽象的な普遍性への貢献
- 詩語の不可能性
- デタッチメントからアタッチメントへ
- 代わりを死んでくれる存在
- 葛藤と悲劇
- 関係の絶対性と共苦
- 復讐できない苦しみや、癒せない怒りを氷解するもの
- アナーキーとっていいほどの熾烈さ



四六判 ソフトカバー装 本文264頁 定価1,980円(税込)

滯標  
みおつくし

大阪市中央区平野町2-3-11-202 Tel.06(6944)0869 Fax.06(6944)0600 振替00970-3-72506

書店にない場合は、注文書にご記入の上、書店にご注文いただくか、弊社・滯標(みおつくし)あてに、電話・ファックスでご注文ください。

書名 奴隷の抒情 神山睦美

注文数

注文書

お名前

TEL.

ご住所 〒

発行・発売 滯標 大阪市中央区平野町2-3-11-202 Tel.06(6944)0869 Fax.06(6944)0600 振替00970-3-72506

ISBN978-4-86078-586-4 C0095 ¥1800E

定価 1,980円(本体1,800円+税)

地小版

書店(番線印)